

戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを考えていただくため、8月7日（木曜日）から12日（火曜日）までカルスタすぎとにおいて、「平成26年度 杉戸町平和企画展」を開催しました。今年は太平洋戦争と予科練の若者たちに焦点を当て、『青春の軌跡 ～予科練の若者たちが守りたかったもの～』と題して展示を行いました。

また、10日（日曜日）には、元予科練習生の戸張礼記さんによる戦争体験の講演が行われ、当時の厳しい訓練の様子や、死と向き合いながら短い生涯を懸命に生きた特攻隊員の話に、来場した多くの方が涙を流していました。終戦から69年を迎える今、戦争の直接経験者が私たちへと投げかけるメッセージ。それぞれが「平和とは何か」について考える1日となりました。

期間 8月7日（木）～12日（火）

時間 9時～21時30分

会場 カルスタすぎと オープンギャラリー ※11日（月）は休館日
杉戸町大字大島 477-8 電話：0480-31-2111

内容 予科練に関する資料、写真等のパネル展示

入場料 無料

基調講演「みんなに語り継ぐ 知られざる予科練」

1. 日時 8月10日（日） 14時～15時（開場／13時30分）

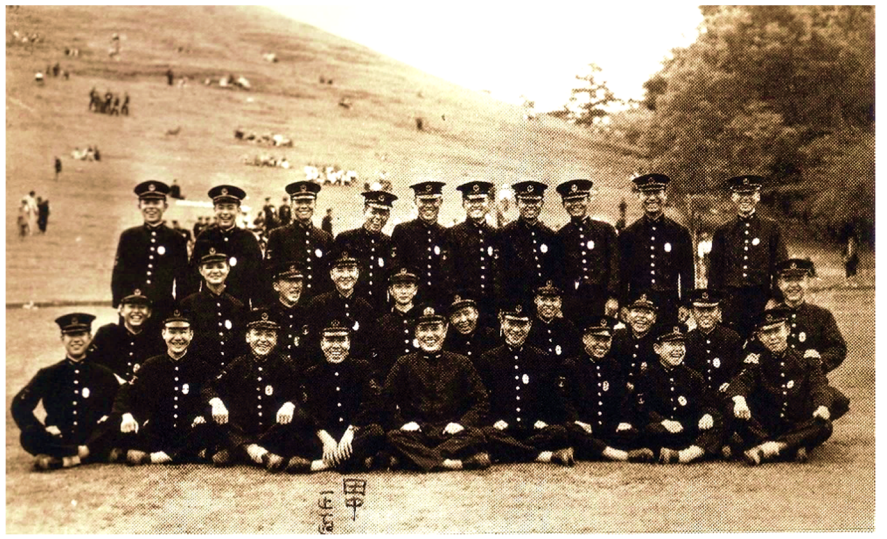
2. 会場 カルスタすぎと 多目的ホール

3. 内容 元予科練習生（甲種第14期）戸（と）張（はり）礼（れい）記（き）氏による戦争体験

4. 入場料 無料







杉戸町平和企画展

8月7日(木)～12日(火)

9時～21時30分

青春の軌跡

予科練の若者たちが守りたかったもの

優秀な飛行機搭乗員を育成するため、旧日本海軍が昭和5年に開始した教育制度「予科練」。選抜試験を突破したおよそ14才から17才までの少年たちが全国から集まり、日々厳しい訓練に励みました。そして太平洋戦争の戦局が厳しくなると、彼らの多くが特別攻撃隊員となり、尊い命を落としたのです。

若い彼らが、命に代えても守りたかったものは何なのか。波間に散った青春の軌跡をたどりながら、今を生きる私たちに託された思いを考えます。

基調講演

「みんなに語り継ぐ 知られざる予科練」

日時 8月10日(日)

14時～15時(開場/13時30分)

場所 カルスタスと多目的ホール

内容 元予科練習生(甲種第14期)戸張礼記さんによる戦争体験

入場料 無料(事前申込不要・先着順)

僕はもう、
お母さんの顔を見られなくなるかも知れない。
お母さん、良く顔を見せて下さい。
しかし僕は何んにもカタミを残したくないんです。
十年も二十年も過ぎてから
カタミを見てお母さんを泣かせるからです。
お母さん、僕が郡山を去る日、
自分の家の上空を飛びます。
それが僕の別れのあいさつです。

乙種第18期予科練習生 神風特別攻撃隊第五神剣隊
茂木三郎さんの母へのごは
(昭和20年5月4日 沖縄泊地で戦死 享年19歳)

主催・問合せ

杉戸町 住民参加推進課

☎0480・33・1111(代)



写真提供/予科練平和記念館(茨城県稲敷郡阿見町)

カルスタスと
オープンギャラリー

※11日(月)は休館日

所在地/杉戸町大字大島477番地8

内容 制服や遺品、写真、パネルなど、予科練に関する資料を展示します。

入場料 無料

協力 阿見町教育委員会、予科練平和記念館

平成 26 年度 杉戸町平和企画展

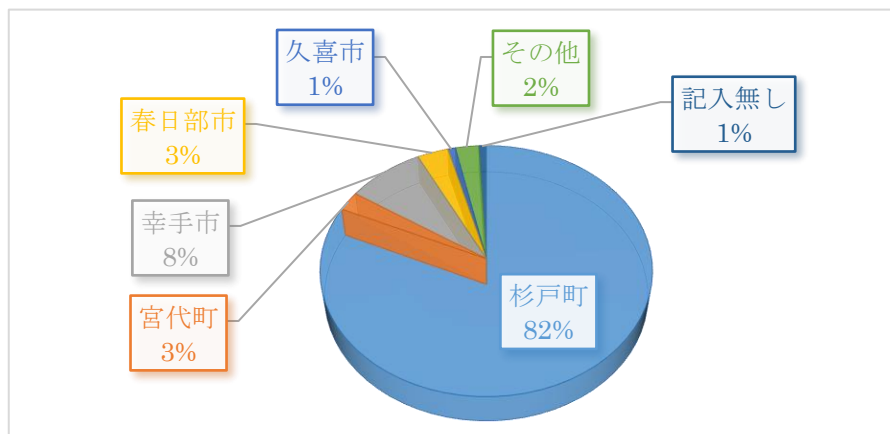
「青春の軌跡 ～予科練の若者たちが守りたかったもの～」

アンケート集計結果報告書

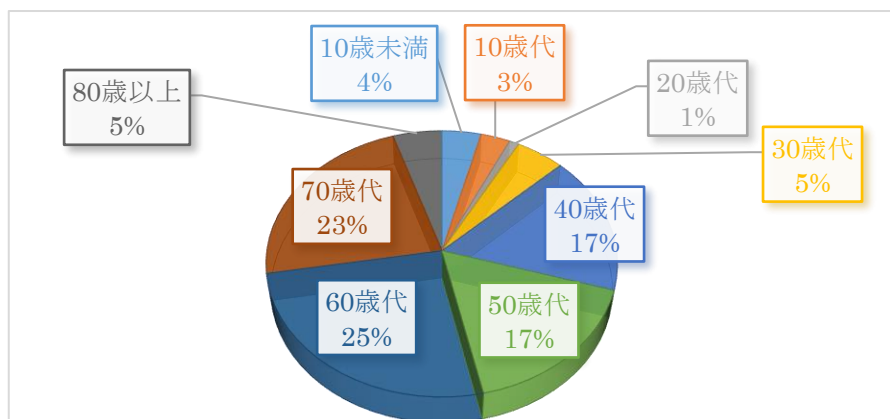
・ アンケート回収数

回収日	回収数
8月7日(木)	24
8日(金)	7
9日(土)	19
10日(日)	17
10日(日) ※講演様式	41
12日(火)	13
合計	121

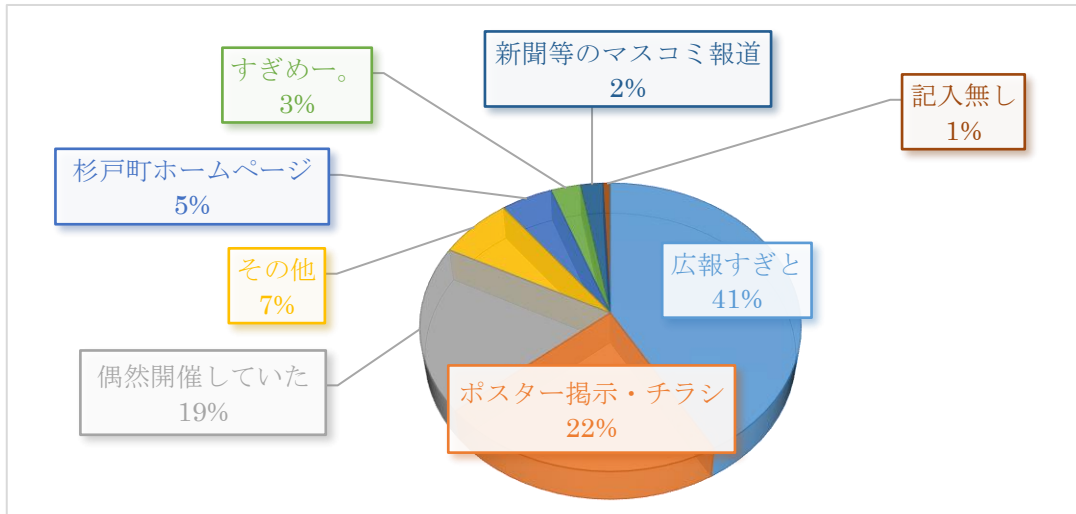
1. お住まいの市区町村はどちらですか？



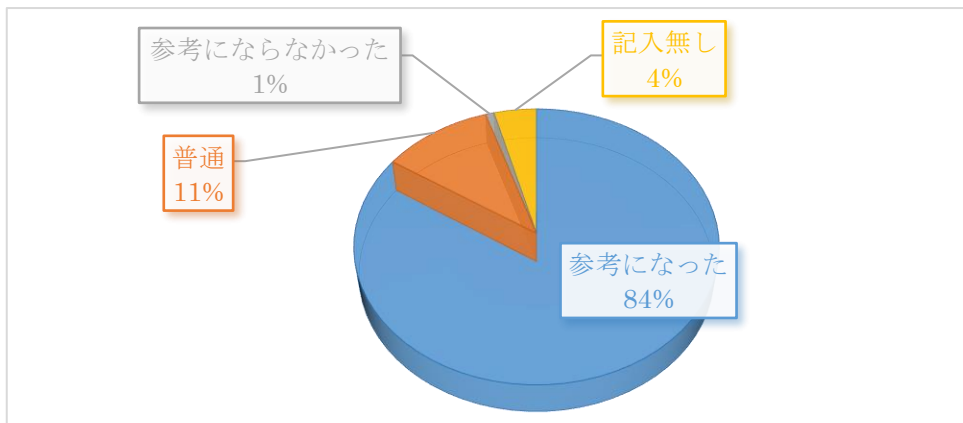
2. あなたの年齢(年代)は？



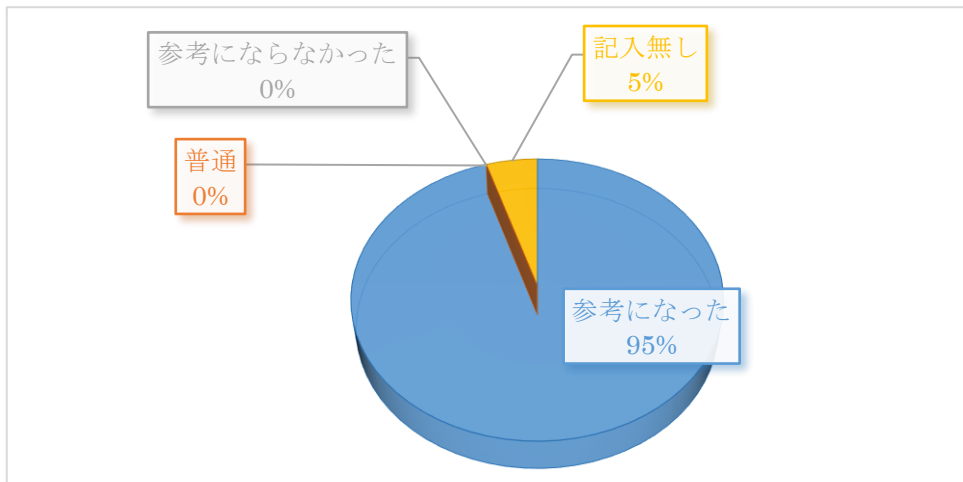
3. 企画展の開催を知ったきっかけは？【複数回答可】



4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



5. 講演の内容はいかがでしたか？



6. その他、今回の企画展に対する感想・意見等（要約）

- ・ 今年で83歳になります。終戦当時、私は女学校2年生（12歳）で、ただただお国のために頑張ってきました。終戦後に大東亜戦争（太平洋戦争）の実態を知り、悲しみでいっぱいです。予科練平和記念館を見学した小学生の感想に、「昔の人たちの犠牲があったから今の平和がある…」という言葉がありました。私は、国民全体がこのような気持ちであってほしいと常に願っています。
- ・ 戦争は無益なもの。戦争のない平和な世界を！
- ・ 予科練のことを初めて知りました。学校で戦争についての多くを学ばず、何も知らないまま大人になってしまう「日本の歴史教育」に疑問を感じました。
- ・ 今回の企画展を見て、予科練平和記念館（茨城県阿見町）へ行ってみたいと思いました。
- ・ 若者たちが特攻隊員として、親よりも早く命を落とすことは、あまりにも残酷です。人間の世で、このようなことがあってはならないと、改めて感じました。
- ・ 家族や愛する人を守るため、死んでいった若者たち。それらの犠牲の上に、今の平和な日本が成り立っているのだと痛感しました。
- ・ 亡くなった祖父の話を思い出しました。今の生活がいかにありがたいものなのかを、改めて感じました。
- ・ 風化させてはならない。戦争体験者が減っていく中で、語り継ぐことの大切さを感じています。
- ・ 「杉戸町平和企画展」は、小さな町で予算も無いのに、毎年頑張っているとと思います。今年もぐっと胸に来る、質の高いものでした。
- ・ このような企画展を、今後も続けてほしいです。
- ・ 小・中学校への広報が足りないのでは。もっと若い世代に見てほしい。
- ・ 戸張さんには長生きをしてもらい、戦争の悲惨さ、そして命の尊さを多くの人に語り続けてほしい。
- ・ 杉戸も空爆によって、死傷者が出ていたことを知ってほしい。
- ・ 戦没画学生慰霊美術館「無言館」（長野県上田市）も紹介してほしい。